

## 2 道の駅もがみの魅力紹介

あつつえ最上町

- ・お茶あつつえ!
- ・んまいものあつつえ!
- ・休むところあつつえ!

「あつつえ」は最上の方言で「ありますよ」の意味。道の駅もがみは、そんなあたたかい方言「あつつえ」を愛称とし、最上町に“ある”たくさんの【たのしさ】【やさしさ】【おいしさ】が国道を利用する皆さんと地域をつなぐ場所を目指します。

### ▼記念スタンプコーナー



愛称「あつつえ」のシンボルマークをデザインしたオリジナルスタンプと台紙があります。



**②休憩スペース**  
ドライブの途中でちょっと休憩したいときは、24時間利用できる休憩スペースをいつでも利用することができます。眼下に広がる最上小国川の清流を楽しむことができます。

**①道路情報コーナー**  
道の駅もがみでは、ドライブに欠かせない交通情報や気象情報、災害情報の提供を24時間体制で行っています。交通情報は、道路管理者や警察からリアルタイムで配信されるため、最新の情報を得ることができます。

**【休憩機能】**  
24時間利用可能な電話や清潔なトイレ、駐車場を備えており、快適にくつろいでいただけるような休憩機能があります。

**【情報発信機能】**  
地域の情報ステーションとして、道路情報や歴史・文化、名産品や観光地などを紹介する案内機能や物産販売コーナーなどがあります。

**【地域の連携機能】**  
各地域の道の駅がそれぞれに連絡を強化することにより、経営内容の改善やサービスの向上を図ることで、利用者に安心と魅力を与えます。

### ③観光情報コーナー



町観光協会の職員が常駐し、対面形式による観光案内所を開設しています。またデジタルサイネージ(注1)活用した情報揭示や情報検索サービス、町民がオススメするスポットをまとめた観光カードをお渡ししています。

このほか、町内の観光情報をもとより、最上地域の8市町村や尾花沢市、宮城県大崎市、秋田県湯沢市など、近隣市町村の観光パンフレットも豊富に取りそろえています。

# 道の駅もがみ

オープンから2か月  
魅力を徹底解説します!!

昨年の11月26日にオープンした「道の駅もがみ」。山形県の東の玄関口として、国道47号の利用者の利便性を確保するとともに、新たな観光交流・情報発信の拠点として、連日たくさんの人々にぎわっています。先月号ではオープン式典の様子をご紹介しましたので、今回は「道の駅もがみ」の魅力をとらえお伝えします。

## 1 道の駅には3つの機能があります

なトイレ、駐車場を備えており、快適にくつろいでいただけるような休憩機能があります。

地域の情報ステーションとして、道路情報や歴史・文化、名産品や観光地などを紹介する案内機能や物産販売コーナーなどがあります。

▼落ち着いた雰囲気交流スペース



◀休憩スペース



◀観光情報コーナー



◀軽食・喫茶コーナー



◀道路情報コーナー



注1 デジタルサイネージ

ディスプレイやプロジェクター、スピーカーを通じて、画像・動画・音声による「動きのある」情報発信ができるメディアを総称する言葉。「電子黒板」とも言う。